



学校データ

【学級数】

5学級

【児童生徒数】

32人

【地域コーディネーター

の有無】有

視野を広げ、自己のよりよい生き方を見出す教育活動の創造

～総合的な学習の時間指導計画『杉の子プラン』の作成と実践から～

1 はじめに

雄大な守門岳、雪解け水を集めて流れる刈谷田川、しんと降り積もる雪、季節毎に美しい姿をみせる里山、サケのふるさと本明川、古のくらしを伝える旧街道沿いの石碑・石仏・祠－見附第二小学校は、美しく豊かな自然、先人のくらしを伝える遺跡、あたたかい地域コミュニティの中の学校である。当校は、昭和26年見附小学校より独立し、今年度、独立70周年を迎えた。教育目標「学びを高める児童」の具現に向け、地域の教育資源と小規模校のよさ・強みを活かした教育過程を編成し、地域・ふるさと（学区、見附、新潟）を舞台に自然や人とのかかわりながら学ぶ教育活動を行っている。

2 取組の実際

(1) 『杉の子プラン』の作成

総合的な学習の時間を教育課程の中核とし、昨年度より全体計画、年間指導計画の再編成を行った。前述の魅力的な地域素材と、小規模校ならではのよさ・強み（異年齢集団活動、身軽なフットワーク、地域との強い連携）をフル活用すると共に、防災教育、キャリア教育、環境教育、ふるさと教育などの6つ領

域を地域の教育資源でつなぎ、総合的、探求的な学びができるように整えた。それが『杉の子プラン』である。

この『杉の子プラン』は、

A) 川と生き物、産業、地域のくらしなど、「水とくらしとのかかわり」を中心テーマにした学習



B) 職業、地域の歴史、防災、エネルギーなどと自分や自分のくらしとのかかわりに焦点を当て、「自分の生き方」を中心テーマにした学習

で構成する。地域・ふるさとを舞台に、人・もの・こととのかかわりながら四年間かけてじっくりと学び、児童が視野を広げ、自己の生き方を考えることができるようにした。

また、当校は職員数が少なく、2・3年でその半数以上が入れ替わってしまう。さらに複式指導も行っている。ゆえに、カリキュラムの中核となる総合的な学習の時間の計画をしっかりと整えることは、誰が担任になっても、学校として系統的で継続した学習指導を行え

ることになる。地域の教育資源を活用した教育活動を継続して積み重ねることは、教育活動の充実だけでなく、見附第二小学校のアイデンティティ確立にも直結する。

(2) 主な実践

①タイムスリップ！杉澤・堀溝

3・4年生は、学区を通る旧村松街道沿いに点在する石碑・石仏・祠について調べた。同窓会長や見附伝承館職員と一緒にフィールドワークを行い、調べたことを地図にまとめた。石碑などの謂われや、それらが集落の入口に集まっていることから、昔の人たちも平和に安全に、そして健康に暮らしたいと願っていたこと、その思いは現代の自分と似ていることに気付いた。



石碑フィールドワーク

②刈谷田川・本明川の生き物

3・4年生は、学区を流れる刈谷田川で水生生物の調査を行った。市理科センター職員と中・上流へ出かけ、川に入って水生昆虫などを観察した。予想以上にたくさんの水生生物が生息していることに驚き、生態系の4要素のバランスが野生生物にとって大切なことを知った。現在、児童は漁協からサケの卵を預かり、ふ化、放流に向けて世話を続けている。学校協の本明川はサケの自然産卵の場である。水生生物が豊富で、サケが戻ってくる河川環境と自分の生活とのかかわりについて学習を続けている。



刈谷田川水生生物調査

③水の恵みと人々の暮らし

5・6年は地域コミュニティの支援を受け、米作りを体験した。その中で、学区でおいしい米をつることができるのは、周囲の里山から流れ出る雪解け水のおかげであることを知った。また、見附や新潟には米を使った食べ物がたくさんあり、生活の中に位置付いていること（食文化）や、水環境の破壊は私たちの生活の破壊につながることを新潟水俣病から学んだ。

3 成果と課題

及び本実践で育成された資質・能力

(1) 成果

地域への愛着に関する児童アンケートの結果を見ると、『杉の子プラン』活用後は、60%→70%→86%と肯定評価が上昇している。児童の地域への関心、愛着が高まってきた。また、協力いただいた地域の方々も、「子どもの役に立ててよかった。」と話してくれている。Win-Winの関係ができはじめている。

(2) 課題

児童の学びを深め、地域との関係を更に向上させるために、『杉の子プラン』を基に、地域コーディネーターと積極的にかかわり、地域学校協働本部との連携を強めていかなければならない。

4 おわりに

独立70周年を機に、イラストレーターと児童で当校のゆるキャラ（右図）を作成した。地域の自慢と児童の郷土愛が形となった。今後も『杉の子プラン』を基に地域と協働して地域でたっぷり学ばせ、児童の見方・考え方と郷土愛の深化拡充を図り、よりよい生き方を見出させていく。

